

国調査や救済あれば



ビキニ国賠訴訟

「苦しんだ人に光を」

1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出た。元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎している。

元船員ら46人の証言の集大成として、元船員ら46人がまとめた報告書「ビキニ核子爆弾被害報告書」が、12月14日、東京の山手正房法律事務所で開催された「ビキニ核子爆弾被害報告書発表会」で発表された。報告書は、元船員ら46人が、1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出たこと、元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎していること、報告書の内容、報告書の作成経緯、報告書の意義などについて説明された。

何の通達もなかった■マダロ捨てて涙■語りながら「痛い」



増本和馬さん

「ひびきの元船員、増本和馬さん(81)は新潟県佐和田市出身。1964年に、米艦隊の核子爆弾落下による放射能汚染を被った。報告書によると、元船員ら46人が、1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出たこと、元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎していること、報告書の内容、報告書の作成経緯、報告書の意義などについて説明された。



下本節子さん

「ひびきの元船員、下本節子さん(81)は新潟県佐和田市出身。1964年に、米艦隊の核子爆弾落下による放射能汚染を被った。報告書によると、元船員ら46人が、1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出たこと、元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎していること、報告書の内容、報告書の作成経緯、報告書の意義などについて説明された。



谷脇寿和さん

「ひびきの元船員、谷脇寿和さん(81)は新潟県佐和田市出身。1964年に、米艦隊の核子爆弾落下による放射能汚染を被った。報告書によると、元船員ら46人が、1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出たこと、元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎していること、報告書の内容、報告書の作成経緯、報告書の意義などについて説明された。



武政弘子さん

「ひびきの元船員、武政弘子さん(81)は新潟県佐和田市出身。1964年に、米艦隊の核子爆弾落下による放射能汚染を被った。報告書によると、元船員ら46人が、1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出たこと、元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎していること、報告書の内容、報告書の作成経緯、報告書の意義などについて説明された。



桑野浩さん

「ひびきの元船員、桑野浩さん(81)は新潟県佐和田市出身。1964年に、米艦隊の核子爆弾落下による放射能汚染を被った。報告書によると、元船員ら46人が、1964年に米国がマゼラン海峡に七二種核子爆弾を落下させたこと、元船員ら46人が国に賠償を求めた国賠訴訟の判決が最高裁で出たこと、元船員ら46人が「苦しんだ人に光を」と歓迎していること、報告書の内容、報告書の作成経緯、報告書の意義などについて説明された。